「知」の集積と活用の場のご紹介と海外展開の取組について

令和３年２月17日

令和２年度第１回GFVC推進官民協議会
分野別研究会【スマートフードチェーン】

農林水産省　農林水産技術会議事務局
研究推進課　産学連携室

佐藤　拓也

知の集積と活用の場の仕組み

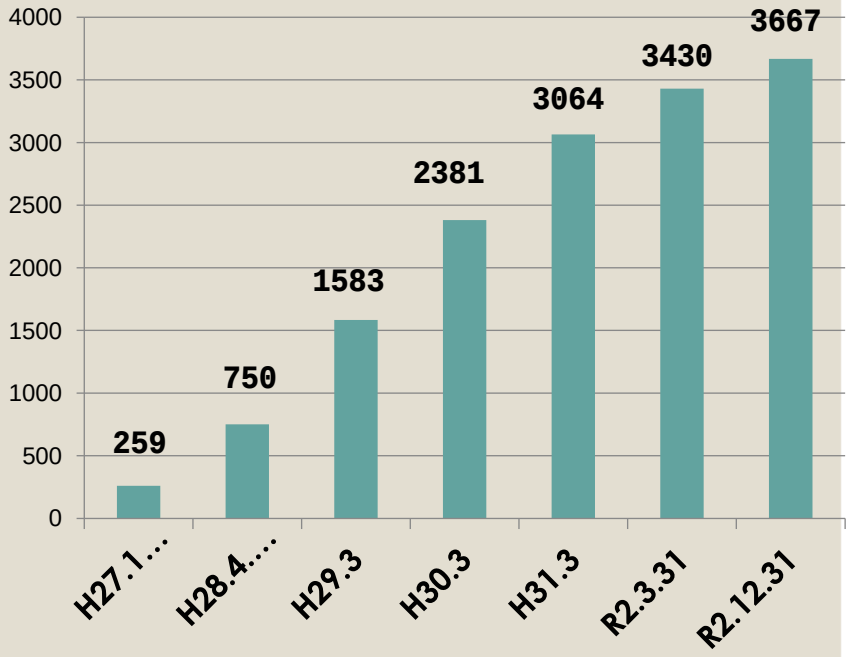
産学官連携協議会について

〇セミナー・ワークショップ等の相互交流の場の提供
〇研究開発プラットフォームの形成やプロデューサー人材の育成

＜産学官連携協議会の会員構成＞

区分	業種・組織	会員数
3法人	農林水産業・食品産業	602
	電機・精密機器製造業等	217
	化学工業等	175
	その他製造業等	220
	卸売・小売業	74
	情報通信業・専門・技術サービス業	538
	金融機関（農林中央金庫、銀行）	27
	研究関係機関（大学、国研等）	401
	民間団体（全農他）	253
	行政・自治体（県、市町）	78
	その他（オランダ王国大使館他）	21
個人	農林漁業者等	78
	研究者等	983
合計		3,667

＜会員数の推移＞



研究開発プラットフォームについて

研究領域	設立数
日本食・食産業のグローバル展開	8
健康長寿社会の実現に向けた健康増進産業の創出	32
農林水産業の情報産業化と生産システムの革新	52
新たな生物系素材産業の創出	11
次世代水産増養殖業の創出	6
世界の種苗産業における日本イニシアチブの実現	9
新たな研究領域	48
合　計	**166**

令和2年12月末現在、
331の研究コンソーシアムが研究を実施又は課題採択

知の集積と活用の場の第２期 (令和３～７年)
基本方針の概要

①会員、プラットフォームの一斉更新と支援の集中

第１期の終期に会員、プラットフォームの活動継続の意思を確認し、継続の意思のある会員、プラットフォームに対して支援を行う。

②スタートアップエコシステムの創生

新事業創出を目指すベンチャー企業の参画を促し、農林水産・食品分野におけるスタートアップエコシステムの創生を目指す。また、事業化・産業化に向けてアクセラレーターやメンターによる併走支援を検討する。

③スマート農業の推進

スマート農業の社会実装やすそ野拡大に貢献していくため、スマート農機のシェアや作業受委託等のスマート農業関連サービス産業に関するプラットフォーム活動が活発に展開されるよう支援する。

④海外市場への展開促進

試行的に取り組んできた、海外大学等との共催マッチングセミナーの開催等の取組を推し進め、研究開発プラットフォームの成果の海外展開を支援する取組を本格化させる。

在京大使館への周知活動

- 在京大使館を一つのチャネルとして、「知」の集積と活用の場の活動や、研究成果の周知活動に取り組んでいる
- 日本の農林水産物・食品の輸出割合が大きいASEAN加盟国や先進的な農業技術を有する欧州各国を中心に、47ヶ国・地域の在京大使館・代表処を訪問
- 周知活動と産学官連携協議会への入会勧誘

産学官連携協議会に入会した在京大使館

アジア・太平洋州

- シンガポール
- タイ
- ベトナム
- インドネシア
- フィリピン
- ミャンマー
- インド
- 東ティモール
- ネパール
- パラオ

欧州

- オランダ
- ハンガリー
- リトアニア
- チェコ
- デンマーク
- ギリシャ
- ポーランド
- ラトビア
- スイス
- ベルギー
- ルーマニア
- エストニア
- クロアチア

米州

- パナマ

在京大使館との主な活動方針

①海外でのマッチングセミナー開催

研究開発PFの要望や在京大使館からの情報を参考に、海外で開催する

②海外展開に関心のある研究開発PFの支援

特定の国での展開に関心のある研究開発PFについて、当該国の在京大使館への技術紹介の機会を創出

③各国の技術的なニーズの把握

各国の技術的な課題やニーズ等を在京大使館にヒアリングをする。関連性のある技術を有する研究開発PFを紹介するセミナー等を開催する

海外でのマッチング

各国の研究機関との
マッチングの場を創出

現地を訪問、イベント
を開催予定

- シンガポール国立大
  順延 (昨年２月予定)

- タイ科学技術開発庁

インドネシア大使館でのミニセミナーの開催

- インドネシア本国では、疾病予防の観点から、「食品の機能性成分」への関心が高まっている
- インドネシア大使館において、２つの研究開発PFの技術を紹介するミニセミナーを令和２年11月17日に開催 (本国研究機関もオンライン参加)
- 将来的な国際共同研究の可能性について、議論が進められている

シンガポール大使館員のモデル事業実証地の訪問

- シンガポールでは2030年までに食料自給率を30%(現在は10%未満)に引き上げるという野心的な政策目標が掲げられている

- 令和２年２月20日
  シンガポール大使館員による「大規模沖合養殖システム実用化研究」実証地(鳥取県境港市)を視察

駐日大使のモデル事業実証地の訪問

令和２年10月22日
東ティモール駐日特命全権大使が「アジアモンスーンPFSコンソーシアム」の技術に高い関心を示され、実証地(沖縄・石垣島)を視察した

大使館との共催イベント

- ハンガリー大使館
  ２月９日(火) 17:00～
  スタートアップ紹介

- インド大使館
  シリーズ開催予定
  第１回: 食品機能性
  ２月24日(水)13:30～

海外への技術紹介イベント

- ３月16日(火) 14:00～16:30
- 大使館会員をご招待
  →リアル開催
  (駐日大使も参加予定)
- 全編英語での発表
- オンライン配信予定

プログラム（案）

1. 研究開発PFの技術紹介

2. 先進的な研究開発の紹介
   “セルロース・ナノファイバー”
   信州大　遠藤先生

3. 農林水産省の新たな政策の紹介
   「みどりの食料システム戦略」

4. 国際部の取組紹介

5. ネットワーキング

GFVC協議会会員皆様のオンライン参加をお待ちしております